

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	管内航路・泊地埋没対策等検討業務
業 務 概 要	<p>輸送量の増大及び船舶の大型化に対応するため、航路・泊地の拡幅増深を進めている中国管内港湾において、周辺からの浮泥等により埋没が発生している。</p> <p>本業務は、高波浪時の埋没影響と埋没実態を検証し、埋没予測手法の精度向上を図るとともに、中長期の施設利用に配慮した水域施設の維持管理計画の検討を行うものである。</p>
契約担当官等の氏名並びにその所属する部の名称及び所在地	<p>分任支出負担行為担当官 中国地方整備局広島港湾空港技術調査事務所長 嘉屋健二 国土交通省中国地方整備局広島港湾空港技術調査事務所 広島市南区宇品海岸3-10-28</p>
契 約 年 月 日	令和2年 8月24日
契 約 業 者 名	管内航路・泊地埋没対策等検討業務 沿岸技術研究センター・いであ設計共同体
契 約 業 者 の 住 所	東京都港区西新橋1-14-2
契 約 金 額	20,196,000円(税込み)
予 定 価 格	20,352,820円(税込み)
随意契約によることとした理由	<p>輸送量の増大及び船舶の大型化に対応するため、航路・泊地の拡幅増深を進めている中国管内港湾において、周辺からの浮泥等により埋没が発生している。</p> <p>本業務は、高波浪時の埋没影響と埋没実態を検証し、埋没予測手法の精度向上を図るとともに、中長期の施設利用に配慮した水域施設の維持管理計画の検討を行うものである。</p> <p>簡易公募型(選定段階省略型)プロポーザル方式により手続き開始の公示を行ったところ、1社から参加表明書及び技術提案書が提出された。</p> <p>提出された参加表明書等について、広島港湾空港技術調査事務所建設コンサルタント等選定委員会により資格要件及び専門技術力等から総合的に評価した結果、管内航路・泊地埋没対策等検討業務沿岸技術研究センター・いであ設計共同体を本業務の契約相手方として特定したものである。</p> <p>以上により、会計法第29条の3第4項、予決令第102条の4第3項に基づき、同社と随意契約を行うものである。</p>
業 務 場 所	—
業 種 区 分	建設コンサルタント等
履 行 期 間 (自)	令和2年 8月24日
履 行 期 間 (至)	令和3年 2月26日
備 考	